

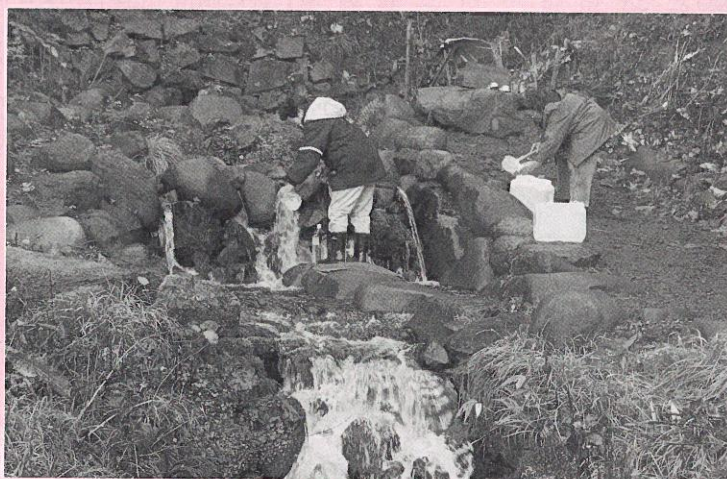
われら仲間たち ②



多彩な芸でイベントを盛り上げます

歌謡舞踊「友」の会

歌謡舞踊「友」の会は、現在約20人が毎週1回浄法寺文化交流センターに集まり活動しています。敬老会や慰問などの福祉活動や、稲庭高原まつりやJホールまつりなどの出演などのイベントに協力しています。代表の円子友子さんは「若さ・健康を保つために楽しく活動しています。若い人も興味をもって、どんどん参加してほしい」と話しています。



おいしい水を求めて多くの人を訪れる岩誦坊

昔、あるお坊さんが金鉾を掘り当てようこの地を掘り進んでいたところ、金鉾らしいものを突き当てました。ところが、その時多量の湧き水が吹き出し、それ以上掘り進むことが出来なくなり、仕方なく掘るのをやめ、石を積み重ねて人目から遠ざけました。やがて、石積みの中から流れ出る湧き水を人々は「岩誦坊」と呼ぶようになりました。

この話は稲庭岳の麓からこんこんと湧き出る名水「岩誦坊」に古くから伝わる伝説です。

岩誦坊は年間を通して水温が7℃から9℃と冷たく、この名水は直接ボトル詰めした「岩誦坊の水」のほか、地ビールや地酒などに利用されています。地ビール「アップビール」は、この地方で「母」を意味する「アップ」から瀬戸内寂聴さんが名づ

け、画家の横尾忠則さんがラベルのデザインをしました。地酒「桂の滴」（特別純米酒）と「御山の郷」（にごり酒）は「ぎんおとめ」を使い、(株)南部美人で醸造されたもので、いずれもおみやげ品として観光客に喜ばれています。

以前この場所は、草や雑木が生い茂り、あまり手入れのされていない場所でしたが、地元の青年たちで「岩誦坊クラブ」を結成し

PRしました。現在では水が汲みやすいように駐車場も整備され、県内外からたくさんの人達が訪れるようになりました。

皆さんも春になったら岩誦坊を訪れてみてはいかがでしょうか。

稲庭岳の贈り物 名水「岩誦坊」 がんしょうぼう